
小平のいまむかし

— うどんからひも解く小平の歴史 —

はじめに

この教材は、小平市立図書館提供の「こだいらデジタルアーカイブ」を活用して、地域の魅力を発見し、自らの言葉で他者へ伝える活動を通して、興味関心の幅を教科横断的に広げ、深めることができる。

また、小平市の人々の生活を写真を通して見ることで、日本の生活文化の違いを発見し、郷土に対する意識を高めることができる。

さらに、教室での学習だけではなく、フィールドワークなどの実体験を通じて、新たな学びのきっかけが得られるものがあるはずである。

最後には、参考になる情報を付記しているので、随時活用いただきたい。

目次

1. 写真で学ぶ「小平の食文化」 ……スライド4～10
2. 地理的要因と地域の特性 ……スライド11～20
3. 教科横断的な学び ……スライド21
4. デジタルアーカイブ活用例 ……スライド22～27
5. 小平の資料について ……スライド28

これはなにをしているところ？



これはなにをしているところ？



小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録。『うどん作り』
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp0600200-200030>

これはなにをしているところ？



小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録. 『うどん作り』
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp0600700-200030>

これはなにをしているところ？



小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録. 『うどん作り』
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp0601900-200030>

小平ふるさと村「小平糧うどん」の紹介動画

小平ふるさと村（糧うどん） | 武蔵野手打ちうどん保存普及会

https://www.musashinoudon.com/?page_id=131

小平のうどん

小平ふるさと村（糧うどん） |
武蔵野手打ちうどん保存普及会

https://www.musashinoudon.com/?page_id=131



小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録. 『お日待』
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp004285-100040>

小平のうどん

うどんは、小平の食生活を代表するものであった。水田が皆無とあってよい小平にあっては、米は陸稲で、主食は麦であった。冠婚葬祭や縁日（モノビ）などのハレの日に必ず出されたのがうどんであった。そのうどんに季節の野菜、小松菜やほうれんそう、なす、大根やにんじんなどを添えた「糧（かて）うどん」が、現在、小平の名物となっている。

小平市史 近現代編 P.769より

<https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100030/ht004420>

日本の主食は「コメ」なのに
小平はなぜ「うどん」なの？

小平市の地理

小平市の地理的環境

→ <https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100010/ht000050>

小平の地形

→ <https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100010/ht000090>

武蔵野の逃水

→ <https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100010/ht000190>

玉川上水の開削と小平の開発

米をつくるどころか飲み水さえも確保できなかった小平...

どうして人が住めるようになったの...？



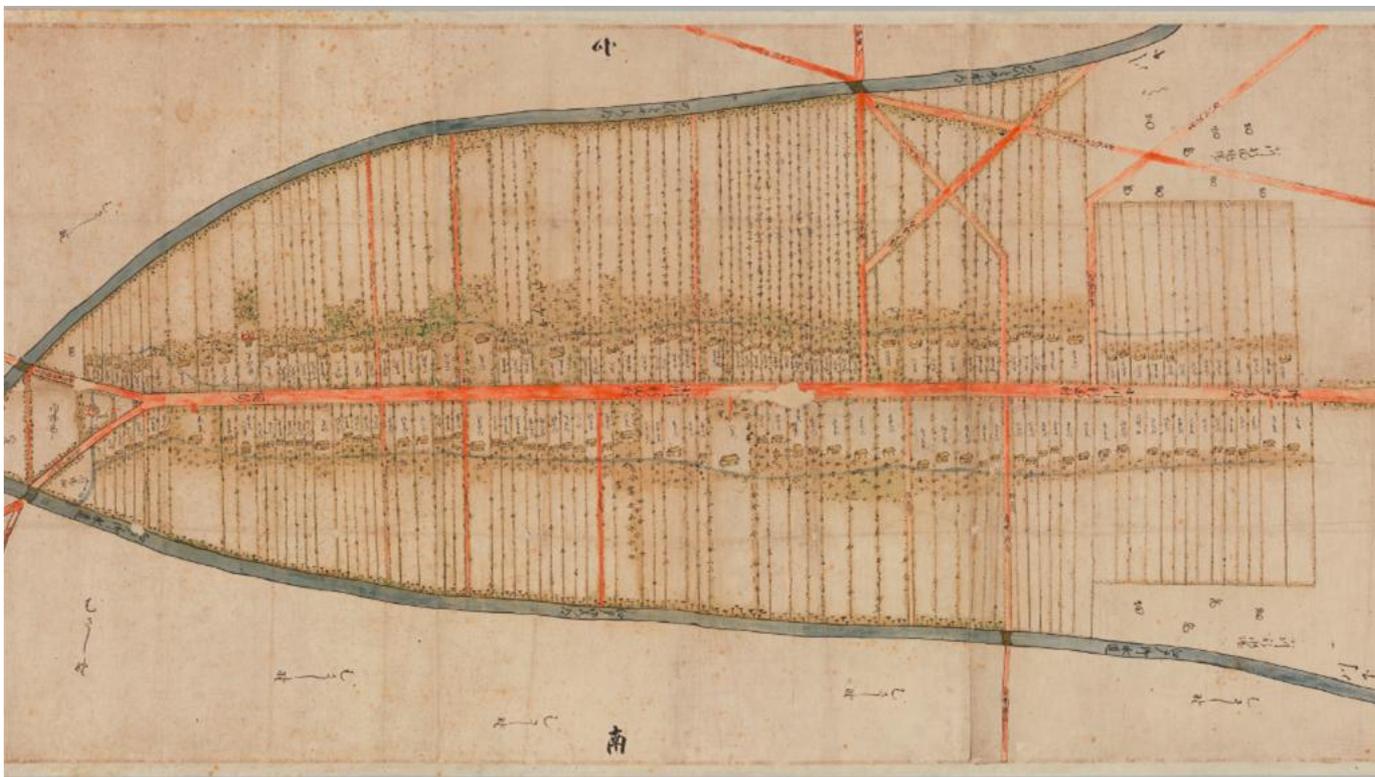
江戸に飲み水を送る玉川上水の開削

そこから分水され、飲み水を確保できるようになった...！！

玉川上水の開削 → <https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100020/ht000220>

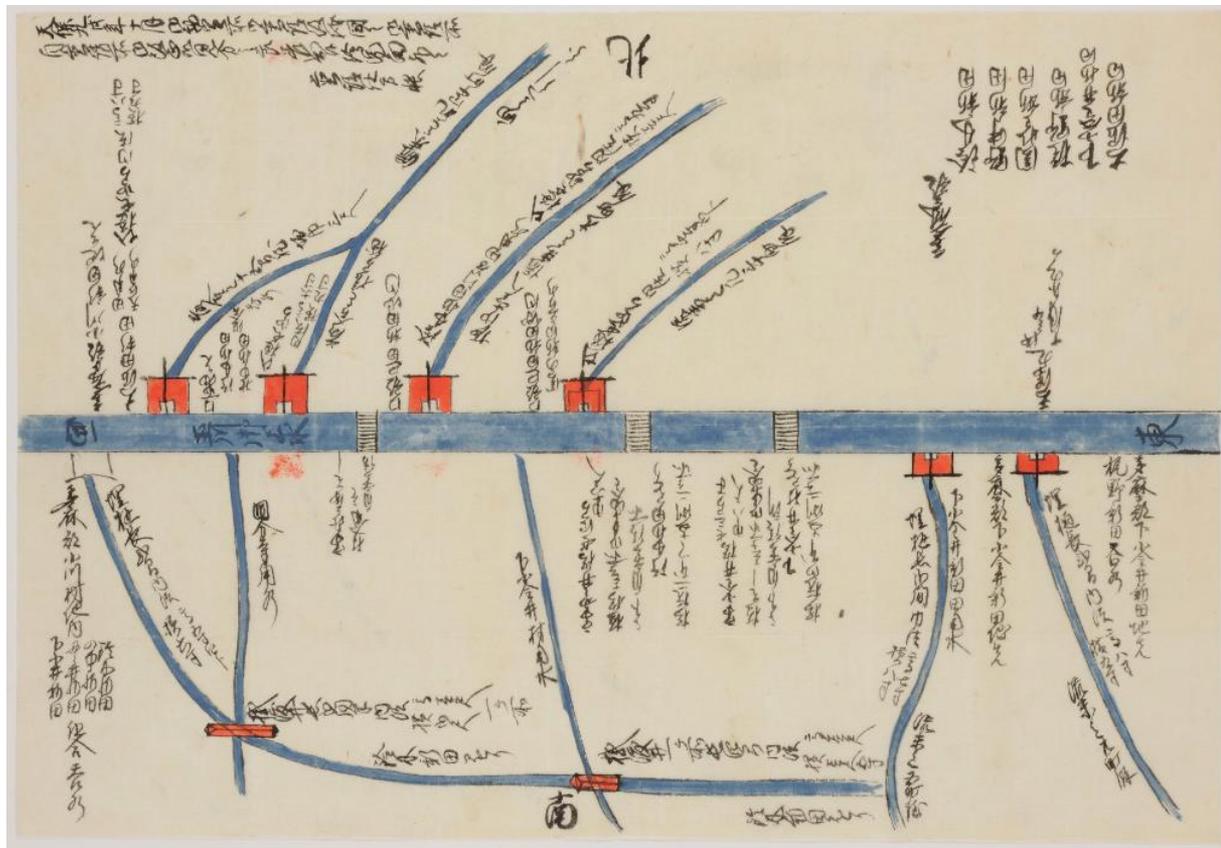
開発と分水 → <https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100020/ht003450>

玉川上水の開削と小平の開発



東京都指定有形文化財 小川家文書『小川村地割図』延宝2(1674)年ごろ
小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録

玉川上水の開削と小平の開発



小平周辺に広がった分水

玉川上水は、江戸城やその城下に飲料水を供給する目的で開削されたものであった。しかし、羽村から四谷大木戸にいたるまでの間、とくに武蔵野に村が開発されていくのにもとない、玉川上水にいくつもの分水口が設けられ、そうした村々にも水が供給されていった。

『小平市史 近世編』 P.472より

小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録

『玉川御上水分水絵図面』天保9(1838)年10月

<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp220163-200020>

米作りには向かない土地

小平でも米を作ろうとした...

すなわち、武蔵野新田は地味が悪く、水もちもよくないので水田がなかなかできず、かつての元文検地で田とされた場所も、今では畑となり、幕府の収得する年貢量も減っている。

畑田成 → 既存の畑を水田に変えること

小平市史 近世編 P.396より抜粋

<https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100020/ht002920>

表2-10 畑田成の造成が見込まれた22か村

| | | |
|-------|--------------|--------------|
| 砂川村 | 小川村 | 小川新田 |
| 野口村 | 大沼田新田 | 前沢新田 |
| 柳窪新田 | 野中新田 | 中藤新田 |
| 平兵衛新田 | 谷保新田 | 戸倉新田 |
| 南野中新田 | 鈴木新田 | 廻り田新田 |
| 関野新田 | 梶野新田 | 小金井新田 |
| 境新田 | 保谷新田 | 保谷村 |
| 田無村 | | |

* 太字は現在の小平市域の村。

* 文政2年「畑田成之儀二付申上候書付」(史料集25、p.267)より作成。

小平のうどん

うどんは、小平の食生活を代表するものであった。**水田が皆無**とってよい小平にあっては、米は陸稲で、**主食は麦**であった。冠婚葬祭や縁日（モノビ）などの**ハレの日**に必ず出されたのがうどんであった。そのうどんに季節の野菜、小松菜やほうれんそう、なす、大根やにんじんなどを添えた「糧（かて）うどん」が、現在、小平の名物となっている。

小平市史 近現代編 P.769より

<https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d100030/ht004420>

まとめ

- ・ 開拓のきっかけ

 - 玉川上水が開削され、**飲み水を確保**できたこと

- ・ なぜ「**米**」ではなく「**うどん**」が食べられていたのか

 - 温暖な気温や降水量には恵まれていたものの、

 - 水もちが悪いため、「**米**」をつくることが難しかった

 - 「**米**」に比べて「**麦**」は少ない水で栽培できるため

出典

- ・小平市史 近世編
- ・小平市史 近現代編
- ・小平市史 地理・考古・民俗編
- ・小平市史 別冊図録 近世の開発と村の暮らし
- ・小平市史 別冊写真集 こだいらの「郷土写真」
- ・郷土写真 - 飯山達雄氏撮影写真



小平の麦畑の様子

小平市立図書館／こだいらデジタルアーカイブ収録
飯山達雄氏撮影写真『麦』
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp0217300-200030>

上記の資料は『こだいらデジタルアーカイブ』でご覧いただけます。

<https://adeac.jp/kodaira-lib/top/>

画像・動画提供

- ・武蔵野手打ちうどん保存普及会

<https://www.musashinoudon.com/>

教科横断的な学び

【学校図書館や公共図書館で】

- ・ 地域資料（郷土資料）やデジタルアーカイブを使ってみよう

【社会科・総合的な学習の時間・探究的な学習の時間】

- ・ 自分だけの「地域マップ」をつくろう
- ・ 問いをさらに深めてみよう

【家庭科】

- ・ 地域の食文化にふれよう（作ってみよう）

昔と今の風景を比べてみよう！

昔の写真を見るには...

こだいらデジタルアーカイブ「定点撮影写真」

<https://adeac.jp/kodaira-lib/top/topg/googlemap/map.html>

昔と今の風景を比べてみよう！

昔の写真はどうなっている？今はどんな様子？



<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp1983046-200010>

1983年

定点撮影写真「野火止橋南東1」

<https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d200010/ht000460>



1990年

<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp1990046-200010>

昔と今の風景を比べてみよう！

昔の写真はどうなっている？今はどんな様子？



<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp1985048-200010>

1985年

定点撮影写真「野火止橋南東3」

<https://adeac.jp/kodaira-lib/text-list/d200010/ht000480>



<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog/mp1992048-200010>

1992年

昔と今の風景を比べてみよう！

昔の写真はどうなっている？今はどんな様子？

今の様子を知るには...？

→①**実際に行ってみる**

②地図を見してみる

GoogleMap

https://www.google.com/maps/@35.7291947,139.4764442,5155m/data=!3m1!1e3?entry=tту&g_ep=EgoyMDI1MDEyMi4wIklXMDSoASAFAQAw%3D%3D

地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/#14/35.726273/139.477444/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=038G0000FFG3AG0095FFG3CG00EEFFG3EG91FF00G40GFFFF00G42GFF8C00G44GFF6800GGFF4400>

「地域マップ」を作ろう ～小平のまちを歩いてみよう～

1. 歩く前に準備したいもの（白地図、筆記用具、GIGA端末など）
2. 地域の人にインタビューしてみよう
3. 気づいたことを書き出してみよう
4. さらに調べて深めよう（「？」を「！」に）
5. 「地域マップ」を共有しよう

おわりに

調べたことを発表してみましよう！

この教材は小平市を取り扱いましたが、これは一例です。

実際にあなたの町について、調べてみましょう。

その際に、地域のデジタルアーカイブや学校図書館・公共図書館などをぜひ活用してみてください。

あなたの町の魅力をさらに発見し、これからも学びつづけていきましょう。

参考資料

小平市立図書館 / こだいらデジタルアーカイブ

キーワード入力(目録を検索します)

小平市立図書館
KODAIRA CITY LIBRARY

こだいらデジタルアーカイブ

『小平市史』および小平市に関する写真資料、平櫛田中彫刻作品3Dなどをデジタル化して公開しています。字音や読み・研究に、ぜひご利用ください。

小平市は、東京都の多摩地域の武蔵野台地上にあり、都心からは26キロメートルのところに位置します。このあたりは水が乏しく、人が生活するには適さない場所でしたが、羽村から江戸まで、多摩川の水を運んだ玉川上水の開通（承応3年・1654-）がきっかけで開拓の条件が整いました。青梅街道などの主要な街道を中心に、整然と計画された矩陣型の地割の様子は、今もうかがうことができます。

○小平市立図書館ホームページ
<https://library.kodaira.ed.jp/>

○こだいらデジタルアーカイブ
<https://adeac.jp/kodaira-lib/top/>

・小平市史
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog-list/1321105100100010>

・郷土写真 飯山達雄氏撮影写真
<https://adeac.jp/kodaira-lib/top/topgg/iiyama/index.html>

・定点撮影写真
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog-list/1321105100200010>

・平櫛田中関連資料
<https://adeac.jp/kodaira-lib/catalog-list/1321105100200040>

この資料を活用する方へ

学校の先生へ

【活用例】

- ・ 社会科の副読本と一緒に
- ・ 生活科、郷土学習の資料として

児童の皆さんへ

～学校図書館や公共図書館を活用してみよう～

- ・ 郷土資料（市史など）を使ってみよう
- ・ デジタルアーカイブを使ってみよう

公共図書館の方へ

【活用例】

- ・ 学校からのレファレンス対応として
- ・ 郷土学習のデジタル資料として